

大分県竹田市を土木遺産の魅力を伝える旅ノート作成の実践モデルとして、竹田市内及び周辺の土木遺産3コースの「地域の宝探し旅ノート」を地域主導で作成し、令和5年10月27～28日に開催された九州各地の道守団体400

名余が集う「みちづくし in 竹田 2023」にて配布しました。

参加者の皆さんからは「地図があり旅のルートが分かると巡りやすい」「他のルートも行ってみたい」などの高好評をいただきました。

Aコース 岡城跡・城下町を歩き 歴史文化を感じよう

城下町として栄えたこの地には、国宝指定史跡である岡城跡をはじめ、竹田市歴史文化館・由学館や旧竹田荘、武家屋敷通りや近年「謎」として注目を浴びる「隠しキリシタン」の遺物もあります。瀧廉太郎や田能村竹田を輩出した歴史と文化が色濃く残る町を散策するコースです。



Bコース 久住高原と先人の見た風景に触れよう

くじゅう連山や阿蘇五岳の雄大な山々を背景に四季折々の花々が楽しめるくじゅう花公園や、国内では珍しいイギリス原産の乳牛「ガンジー牛」を育てているガンジー牧場、風景画のように記憶に残る道が全長約52km続くやまなみハイウェイなど、大自然の中で素晴らしい絶景やエンターテインメント体験を五感で味わうことができるコースです。



Cコース 祖母山麓の名水、遺産巡り たけたの水文化を知ろう

「名水百選」に選ばれるほど美しい祖母山系から湧き出す天然水は、古くから農耕に恵みをもたらし、人々の生活を支えてきました。先人たちが時代の技術や知恵を結集し、後世のために築き上げてきた「音無井路十二号分水」や「明正井路一号幹線一号橋」「岩戸橋」「白水堰堤」などの土木遺産を巡るコースです。



旅ノートを利用した「土木遺産な旅」の実践